

教 育

教育に関するご
意見や情報をお寄
せください

社会部教育班

電話

098(860)3552

ファクス

098(860)3483

※火・木・金曜日
に掲載します。

県教育行政で抱負

4日の県教育委員会で委員長に再任された比嘉梨香氏(50)と、1日付で新委員に就任した新垣和歌子氏(56)に今後の抱負などを聞いた。

(聞き手=社会部・又吉俊充)

比嘉梨香教育委員長に聞く

透明性拡大に努める

「県教育委員長としての活動を振り返って。」

開かれた教育委員会を目指し、県庁舎外での移動教育委員会や、公立学校と図書館な

どの視察、市町村教育委員会との意見交換会を実施した。

これまで県と市町村教委が話し合う機会は少なかつたが、顔をあわせて話し合いをする



「長野県教委を一つのモデルに、県教委の透明性を拡大していきたい」と抱負を語る比嘉梨香県教育委員長=那覇市

ことで協力度がスムーズになる。

八重山特別支援学校を視察した時、障害の種類や度合いで子どもに必要な支援が異なることに気付かされた。現場を見ることで、子どもへの十分な支援体制や組織づくりに必要な施設や人員数なども参考になった。

また、昨年は県教委と仲井真弘多県知事との意見交換会も実現した。今後も定期化し、教育現場の声を知事部局の施策にも反映できるようにしたい。

11月にはうるま市で集団暴行死事件が起きた。

2度と起こしてはいけない事件。再発防止のために、学校、家庭に加え、保護司やスクールカウンセラーなどがそれぞれ役割を再確認し合うことが必要。そのため場をつくっていききたい。

今年取り組みたいことは。

昨年12月に情報公開を徹底する長野県教委の定例会を視察した。事務局の議案説明がすべて一般公開され、「なぜこの施策を実施する必要があるのか」と教育委員が議案の決定プロセスについて県民

視点で質問する。長野の取り組みは、県教委の透明性拡大に向け、一つのモデルとなる。

主要教育施策については、これまで以上に県教委で積極的な議論ができるような仕組みをつくり、県民に公開できるようにしたい。